

食品衛生法 第 370 号に適合

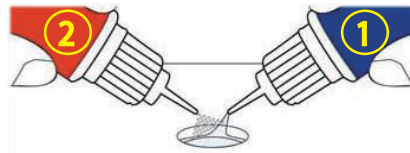
瞬間接着補修剤 QUICK FIX GLUE II



幅広い用途に対応します。

鋼板・アルミ・ポリ塩化ビニール・アクリル樹脂・ポリカーボネート・
クロロプレンゴム・エチレンプロピレンゴム・ABS 樹脂など多くの素材の補修に！！

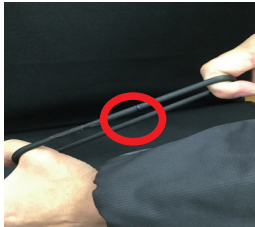
※PP・PE・スチレン樹脂・シリコン・フッ素系樹脂や陶器など染み込むような材質には
接着できません。このような材質にご使用される場合、弊社製品 PRK をお勧めします。



①液状 (高分子液状接着剤)+②粉末 (ウェルディングパウダー)

穴・ヒビ・欠け補修が、こんなに簡単・強力に！！

リング



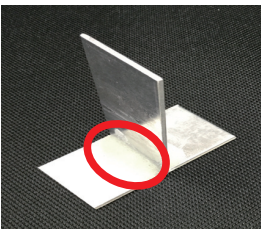
ラジエーター
インターチューブ



エアコン
銅管



アルミ
接合



ラジエター
ホース



ラジエター
アッパー



作業動画はこちらからご覧ください



硬化後はサンド仕上、穴・ネジ加工、塗装も可能です。

※手などに付着した場合、決して無理にとろうとせず、除光液 (アセトン)

などで溶かして取るか、40℃以上のお湯でもみほぐして下さい。

※使用後は必ず蓋を閉めて、横倒しせずに冷暗所で保管して下さい。

商品名	型番	商品CD	荷姿	大箱	使用温度範囲	内容量各	可使時間	完全硬化時間	最大耐圧
瞬間接着補修剤	QFG II	1019	2本1組	20組	-55℃~+95℃	液 20ml 粉 30g	約 10 秒	約 24 時間	70kg/cm ² (補修内容で異なります)



旭エンジニアリング株式会社

<http://www.asahi-engineering.com/>

〒553-0002 大阪市福島区鷺洲 4-4-3

TEL : (06)6452-5811

FAX : (06)6452-5770



EXTREME PRODUCTS

Q&A

Q1. うまく接着させるには？

A. まずは、接着面の汚れをよく落としましょう。

手の油などの汚れが付いていると、接着しにくくなります。

一度接着後剥離した面を再接着するときは、接着硬化物を取り除きましょう。

すき間や凸凹をできるだけ無くしましょう。

すき間が大きいと、接着しにくくなります。可能であれば、すき間が出来ないように

接着面をサンドペーパー（＃200程度）などで削りましょう。

接着剤を付け過ぎないようにしましょう。

接着剤を付け過ぎると接着しにくくなるほか、はみ出した接着剤により周りが白化する恐れがあります。

最適量は、5mg/cm²程度です。「1滴で10円玉の面積」が目安となります。

薄く広げず、そのまま張り合わせましょう。

薄く塗り広げると、貼り合わせる前に硬化が始まり期待した接着力が出ない可能性があります。

塗布したらそのまま張り合わせ、液を押し広げましょう。

寒い時は、接着物をあたためましょう。

接着温度が低いと硬化が遅く接着しにくくなります。

屋外使用時など気温が低い場合は、接着物をあらかじめ30~50℃程度に加熱しましょう。

Q2. 接着できないものは？

A. ポリエチレン、ポリプロピレン、フッ素樹脂、シリコン樹脂、スチレン樹脂、紙には接着しません。

ただし、PP、PEはプライマーで上手く前処理をすれば基材との密着性が上がり接着できることもあります。

Q3. 手に付いたら？

A. まずはあわてず、無理に引っ張ったり、剥がそうとしないで下さい。皮膚を傷めます。

除光液（アセトン）か40℃くらいのお湯でもむようにしてゆっくり剥がして下さい。

付着した硬化物は新陳代謝により2~3日で自然に取れます。

Q4. 衣類に付着した場合は？

A. 衣類に付いた接着剤は、無理に取ろうとせず専門のクリーニング店に除去を依頼して下さい。

完全に元の状態に戻すのは困難です。

大量に衣類に染み込んだときは、急激な発熱でやけどすることがあります

Q5. 目に入った場合は？

A. あわてず大量の水で洗眼し、医師の手当てを受けてください。無理に目をこすったりしますと、目を傷めますので絶対に避けて下さい。

Q6. 口に入った場合は？

A. 量が少なければすぐ固まります。あわてずに大量の水で口をすすぎ、固まった接着剤を手で取ります。

大量に入った場合、やけどのおそれがありますので水で冷やしてすぐ医師の手当てを受けて下さい。

Q7. 最適な保管方法は？

A. 使用後はノズルについた接着剤をよく拭き取り、キャップをきちんと閉めて冷蔵庫で保管すると長持ちします。

ただし、冷蔵庫から出したときは室温に戻してから開封して下さい。容器のまわりについた水分が容器内に入ると固まりやすくなります。



旭エンジニアリング株式会社

<http://www.asahi-engineering.com/>

〒553-0002 大阪市福島区鷺洲 4-4-3

TEL : (06)6452-5811

FAX : (06)6452-5770